

住民懇談会開催結果

日にち	時間	場所	参加者数	目的
2019年1月25日(金)	14:00 ~ 16:00	図書館学習交流プラザ「サンライズ」 3階会議室1・2・3	17名	みよし市地域公共交通網形成計画の策定に向け実施する各種ニーズ調査の1つとして、市民がさんさんバスや鉄道、路線バス等に期待する役割を整理し、その役割を果たすうえで必要となる現行サービスの改善点などを把握する。
2019年1月26日(土)			15名	

● 住民懇談会開催結果（集約意見）

- これまでのさんさんバスの5つの運行目的について、どれも重要な目的であるという意見が多く出された。
- 「②高齢者・移動困難者の社会参加の支援」に対しては、対象を絞ることなく、誰もが使いやすい公共交通とすることが重要であるという意見が出された。
- 「④地域間の交流促進」に対しては、市内に乗り継ぎ拠点を設けることで、路線が短くなるメリットが生まれるという意見も出された。
- さんさんバスの良い点については、ワンコインであることや、市内のどこへでも行けること、1時間に1本運行されていること、子どもや特別支援学校の生徒に優しく対応する運転士がいることなどが意見として出された。
- さんさんバスの改善点については、路線が長く目的地まで時間がかかることや、乗合タクシーとの乗り継ぎバス停における環境整備、遅延が発生していること、時刻表が見にくいことなどが意見として出された。
- 鉄道・路線バス・タクシーの良い点については、定時性に優れており、東西方向（名古屋市・豊田市方向）への移動に便利であることなどが意見として出された。
- 鉄道・路線バス・タクシーの改善点については、赤池駅で初乗り運賃が加算されることや、地下鉄との割引運賃の設定、駅設備の更新、最終バスの早さなどが意見として出された。
- 住民懇談会の感想として、様々な意見を聞くことができ、さんさんバスについての知識を高めることができたことや、今後も継続的な開催を望む声が聞かれた。

● プログラム

第1部

- (1) 開会あいさつ
- (2) 公共交通の現状と各種ニーズ調査結果の説明
 - ・住民懇談会の位置づけと、市民アンケート等の各種ニーズ調査結果からみた現状の説明
- (3) 地域の公共交通について考えてみよう！
 - ・講演：みよし市地域公共交通会議 会長 伊豆原 浩二（愛知工業大学客員教授）

第2部

- (4) グループ討議
 - ①参加者による簡単な自己紹介（氏名、居住地、バスの利用頻度）
 - ②さんさんバスに期待すること（役割）について、運行目的を基に意見交換
 - ③上記の意見交換結果からみた、さんさんバスの良い点や現行サービスの改善点について意見交換
 - ④鉄道・路線バス・タクシーの良い点や現行サービスの改善点について意見交換
- (5) 各グループの結果発表（会場全体で意見を共有）
- (6) 総評
 - ・みよし市地域公共交通会議 会長 伊豆原 浩二（愛知工業大学客員教授）
- (7) 閉会あいさつ

● 住民懇談会についての感想

- このような会議がもっと早くからあるとよかった。今後このようなことを増やしてほしい。
- 自分の考え以外の意見を色々聞く事ができ、さんさんバスに対する知識を高める事ができた。
- 初めての参加であったが、面白い展開であった。ともすると市民との距離が感じられる市政について、市民に近づけるためにこうした場をもっと多くしてほしいと思った。
- 事前に具体的なテーマを知らせてもらえれば、詳細に回答ができたと思う。
- 地域の方々との交流による意見の交換のできたことは大変よかった。皆さん大体同じ意見が伺えて納得できた。

● 住民懇談会当日の様子



開会あいさつ



公共交通の現状と
各種ニーズ調査結果の説明



地域の公共交通について考えてみよう！



グループ討議



各グループの結果発表①



各グループの結果発表②

グループ討議で出された主な意見		
1. さんさんバスの運行目的について	2. さんさんバスの良い点や改善点について	3. 鉄道・路線バス・タクシーの良い点や改善点について
<p>①市内の交通空白地帯の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> 空白地帯の解消も重要だが、路線が煩雑にならない工夫が必要 まだカバーできていない部分があるため、引き続き重要 <p>②高齢者・移動困難者の社会参加の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も重要となる目的で、高齢者にやさしい施策が必要 コミュニティバスは移動困難な人を助ける役割が一番 ターゲットを絞らず、誰もが使いやすい公共交通とすることが重要 学生の利用（通学等）が重要で、高齢者に絞らない運行 <p>③公共公益施設などへの交通手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の商業施設や市民病院へのアクセスとして重要 <p>④地域間の交流促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的を見直し、拠点での乗り継ぎを採用 他の市町との連携を強めることが重要 <p>⑤交通の安全と円滑化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「安心」というニュアンスが追加が必要 バスに乗ることに対する不安の解消→利用の増加→交通の円滑化 <p>●新たな目的の提案・アイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通のPRが目的 	<p>良い点</p> <p><運賃></p> <ul style="list-style-type: none"> ワンコインであること 北から南まで移動しても 100 円 <p><ルート></p> <ul style="list-style-type: none"> 市内のどこへでも行くことができる 分岐が少なく、分かりやすいルートである 主要な施設をめぐっている 他市町のコミュニティバスと乗り継げる <p><バス停></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民病院やアイモールに 市内全域からアクセスできる 自宅や目的地の近くにバス停がある <p>改善点</p> <p><運賃></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障がい者は無料がよい 100 円は安いように思う <p><ルート></p> <ul style="list-style-type: none"> 路線が長く、目的地まで時間がかかる う回しない南北の快速ルート (通勤通学時に利用) <p><バス停></p> <ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシーとの乗り継ぎ場所の環境を改善した方がよい（雨ざらしが多い） 自転車置き場がなく、近くの施設の 自転車置き場も利用できない 豊田厚生病院の乗り場が分かりにくい 	<p>良い点</p> <p><鉄道・路線バス 共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 名古屋や豊田へ速く行ける 東西方向の移動が便利である <p><鉄道></p> <ul style="list-style-type: none"> 定時性に優れている <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> 三好ヶ丘ループバスや、愛知学泉大学のスクールバスが便利である <p>改善点</p> <p><鉄道></p> <ul style="list-style-type: none"> 赤池を境に運賃が高くなる 名鉄豊田線の加算運賃が高い 駅のトイレを洋式にして欲しい <p><路線バス></p> <ul style="list-style-type: none"> 赤池、豊田市からの終バスが早い（23 時以降のバスを増やして欲しい） バス停に日除けがあると待ちやすい 不安を覚える運転をするドライバーがいる 雨の日に遅延する 地下鉄との割引運賃設定があると良い <p><タクシー></p> <ul style="list-style-type: none"> 駅での待機台数が少ない